

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35090	
事業名	介護療養型医療施設等転換整備補助金						
評価担当課	所属名	保)高齢保健福 介護保険課					
	課長名	池田 清美	担当者名	櫻井 敦史	電話番号	011-211-2972	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	転換に際して必要となる施設の改修に対し、整備費及び備品購入費に対する補助を行う。				
		長期	令和5年度末に廃止となる介護療養型医療施設等について、介護医療院等への転換支援を行う。				
	取組内容	令和5年度末に廃止となる介護療養型医療施設等について、介護医療院等への転換支援を行う。					
実施結果	2施設159床分の介護医療院への転換が完了した。						
事業実施における工夫点	既存の介護療養型施設等に転換希望調査を実施						
対象者	介護療養型医療施設等運営事業者			開始	令和3 年度	終了	令和3 年度
関連法令・条令・要綱等	介護保険法、札幌市介護サービス提供基盤等整備事業補助金交付要綱 令和3年度介護サービス提供基盤等整備事業費交付金交付要綱						
他都市の状況	他都市においても交付金を活用し、介護療養型医療施設の転換を進めている。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	8,648	213,000	25,952	12,000
うち特定財源	8,648	213,000	25,952	12,000
人工	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費	1,440	1,440	1,440	1,440
計(事業費+人件費)	10,088	214,440	27,392	13,440
事業費の内訳	令和3年度決算	令和3年度の介護サービス提供基盤等整備事業費交付金の備品補助の交付単価は219千円、改修の交付単価は1,115千円。 ①+②=25,952千円 ①備品補助:補助上限額は219千円×127床=27,813千円だが、実績は16,913千円 ②改修補助:補助上限額は1,115千円×32床=35,680千円だが、実績は9,039千円		
	令和4年度予算	令和3年度の介護サービス提供基盤等整備事業費交付金の備品補助の交付単価は219千円。12,000千円(219千円×52床=11,388千円)※端数調整+612千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	転換床数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	40	159	159	52
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	前年度に意向調査を行い、介護医療院への転換を希望した2施設159床分について転換を進め、令和3年度内に転換が完了した。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	意向調査にて把握した転換希望施設に補助要件等の確認を行い、転換を実施している。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	補助金の交付は、現地検査及び書類審査を行い、転換が完了したことを確認した上で適切に実施している。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	【入居者】プライバシーが確保され、安心した生活を送ることができる。 【事業者】転換を行うためには工事等多額の費用がかかるが、補助金を利用することにより転換が進む。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	なし			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	当該事業が必要な事業者に対し、要綱に基づいて補助金の支給ができたためである。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 令和4年度に意向調査をして、令和5年度中に転換希望している1施設につき、補助を実施する。		
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 令和4年度の介護サービス提供基盤等整備事業費交付金の備品補助の交付単価は219千円、改修補助の交付単価は1,115千円。 ①+②=101,000千円(端数調整+950千円) ①備品補助:219千円×75床=16,425千円		見直し効果額 0 千円